

日本教育方法学会 第35回大会プログラム

《大会日程》

第 一 日 9月 29日・水	9：30	課 題 研 究 I 戦後授業研究の 成果と課題		課 題 研 究 II あらためて道徳教育を問う		課 題 研 究 III いま教師教育に何が 求められているか	
	11：30						
	11：40	総 会					
	12：30	休 (昼食) 憩					
	13：30	自由研究 1	自由研究 2	自由研究 3	自由研究 4	自由研究 5	
	15：40						
	15：50	シ ン ポ ジ ウ ム 新学習指導要領の教育方法学的考察－教育課程・方法の改革－					
	18：20						
	18：30	会 員 懇 親 会					
	20：00						

第 二 日 9月 30日・木	9：30	自由研究 6	自由研究 7	自由研究 8	自由研究 9	自由研究 10
	12：00	休 (昼食) 憩				
	13：00	課 題 研 究 IV 子どもの教育的ニーズと 学級授業の改革		課 題 研 究 V 情報教育カリキュラムの 検討		課 題 研 究 VI 「総合的な学習」は学校の 学びを変えるか
	15：00					

1999年 9 月29日(水)・ 9 月30日(木)

於 金 沢 大 学

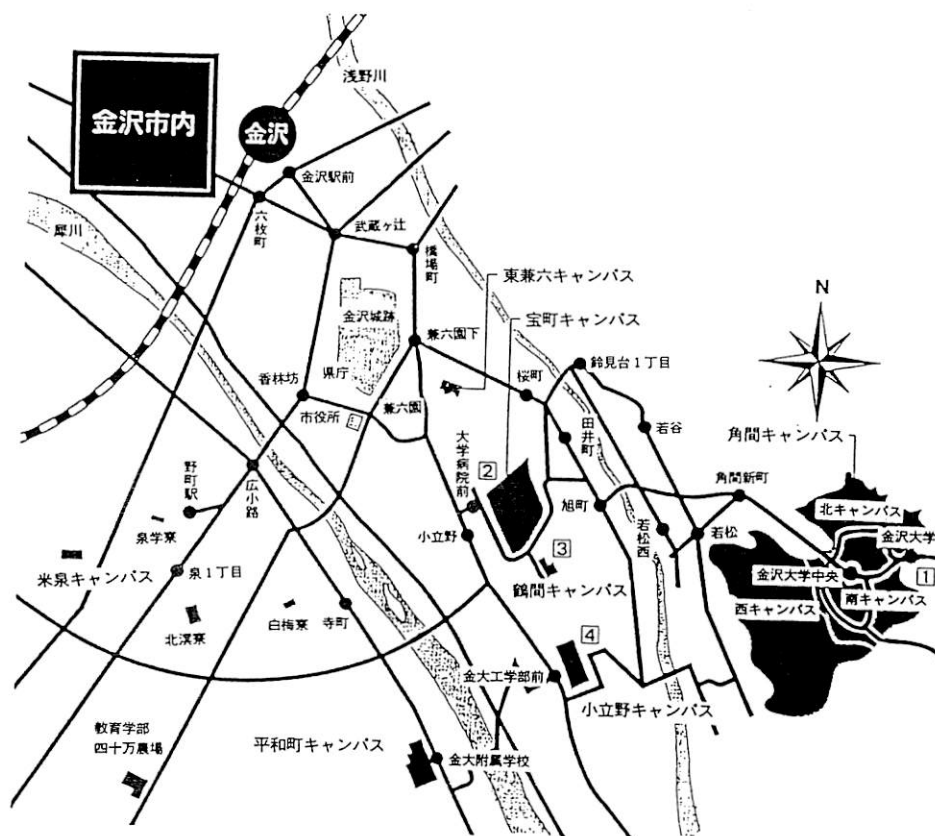
大会参加要領

1. 会場案内：会場は、金沢大学教育学部（角間キャンパス）です。会場への経路につきましては、次頁をご参照ください。
2. 受付：大会第1日目（9月29日・水）は8：30、第2日（9月30日・木）は9：00からです。受付は2階ロビーで行います。
 - ・大会参加費（発表要旨集録代を含む）は、一般会員3,500円、学生会員2,500円です。
 - ・当日会員（臨時会員）もこれに準じて受け付けております。
 - ・本年度までの学会費（一般会員8,000円、学生会員6,000円）を未納の方は、あわせてお納めください。
 - ・本年度の学会費を納入された方には、受付にて『教育方法28』をお渡しします。
 - ・会員懇親会の参加受付も行いますので、ふるってご参加ください。詳しくは、12頁の「インフォメーション」をごらんください。
 - ・受付にてネームプレートを用意しておりますので、お名前をお書きのうえ、おつけください。
3. 昼食：学内の生協食堂が営業しておりますので、そちらをご利用ください。
4. 研究発表：発表会場につきましては、4頁の「教育学部講義室配置図」をごらんください。
 - ・自由研究の発表時間は、以下の通りです。
 - 個人研究：発表20分 質疑10分
 - 共同研究：発表30分 質疑10分
 - （但し、口頭発表者が1名の場合は、個人研究に準じます。）
 - ・本プログラムに記載されているコーディネーターおよび司会者、提案者の氏名は、五十音順です。
 - ・自由研究における共同研究発表者の氏名は、「発表申込用紙」に記入された順序によります。また、○印は口頭発表者です。
5. 会場校連絡先：〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学教育学部

なお、大会に関するお問い合わせは、学会事務局（TEL. 0824-24-6744）にお願いいたします。

<金沢大学案内図>

【大学周辺の地図】



【会場への主要経路】

● バス利用の場合

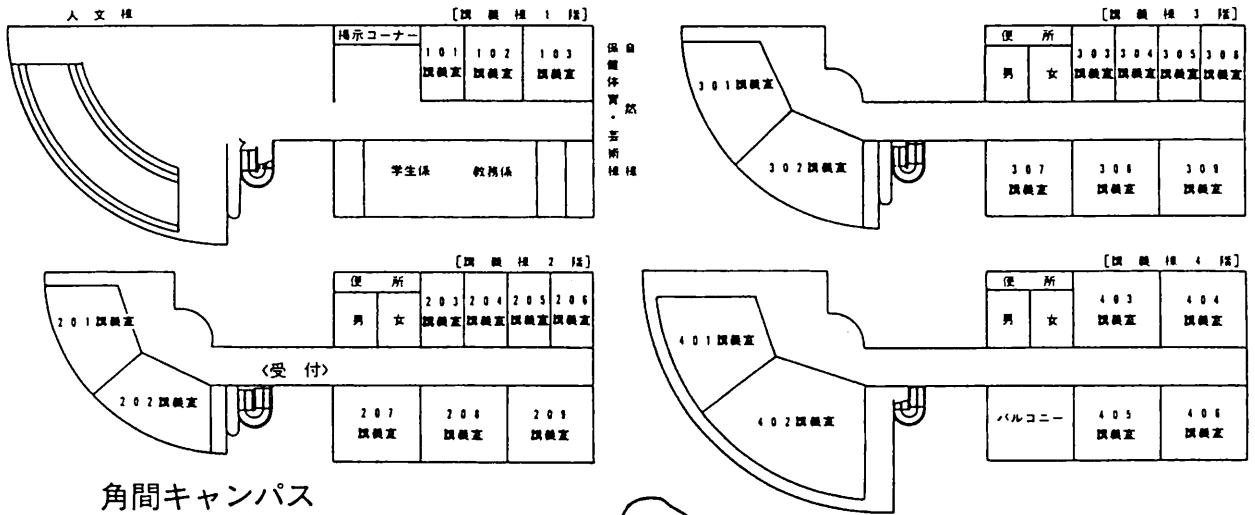
- ・ J R 金沢駅東口11番のりばから、北陸鉄道バス「金沢大学」行きに乗車、終点「金沢大学」下車。
- ・ 片道約40分、350円
- ・ 「香林坊」で乗車の場合も350円

● タクシー利用の場合

- ・ 金沢駅～角間キャンパス間、2,600円前後
- ・ 香林坊～角間キャンパス間、1,800円前後

金沢駅	香林坊	兼六園下	金沢大学	金沢大学	兼六園下	香林坊	金沢駅
7:50	7:59	8:02	8:24	16:10	16:24	16:26	16:44
	8:01	8:04	8:33	16:15	16:29	16:40	
7:55	8:04	8:07	8:29	16:20	16:35	16:38	
	8:10	8:14	8:35	16:30	16:43	16:49	17:04
		8:20	8:40	16:40	16:54	17:05	
8:10	8:19	8:22	8:44	17:05	17:20	17:23	17:39
	8:20	8:24	8:45	17:10	17:24	17:28	17:44
	8:21	8:24	8:53	17:20	17:35	17:38	
8:15	8:22	8:26	8:49	17:25	17:38	17:44	17:59
8:10		8:32	8:55	17:35	17:48	17:54	18:08
	8:36	8:39	9:08	17:46	18:03	18:13	18:31
8:31	8:40	8:43	9:05	17:50	18:04	18:08	18:24
8:45	8:54	8:57	9:19	18:10	18:25	18:28	
	9:00	9:04	9:25	18:25	18:42		19:10
	9:15	9:18	9:44	18:40	18:53	18:58	19:14
9:15	9:24	9:27	9:49	18:45	19:00	19:03	
	9:37	9:40	10:06	19:15	19:29	19:40	
9:35	9:43	9:48	10:09	19:30	19:43	19:49	20:04
	9:50	9:53	10:15	19:50	20:07	20:10	
	9:55	9:59	10:20	20:15	20:29	20:31	20:49
9:55	10:03	10:06	10:29	20:55	21:09	21:13	21:29
	10:11	10:14	10:40	21:20	21:34	21:38	21:54

〈教育学部講義室配置図〉



角間キャンパス



- ① 附属図書館
- ② 文・法・経済学部
- ③ 教育学部
- ④ 総合教育棟
- ⑤ 体育館
- ⑥ 学生会館
- ⑦ 理学部
- ⑧ 本部（学生部）
- ⑨ 国際交流会館
- ⑩「金沢大学中央」バス停
- ⑪「金沢大学」終点バス停

課題研究Ⅰ・Ⅳ：302講義室
 課題研究Ⅱ・Ⅴ：401講義室
 課題研究Ⅲ・Ⅵ：402講義室
 自由研究Ⅰ・Ⅵ：307講義室
 自由研究Ⅱ・Ⅶ：308講義室
 自由研究Ⅲ・Ⅷ：309講義室

自由研究Ⅳ・Ⅸ：405講義室
 自由研究Ⅴ・Ⅹ：406講義室
 シンポジウム・総会：402講義室

*会員控室〈209講義室〉

大会事務局〈207講義室〉

※会員懇親会は、北福利会館で行います。

9月29日(水) (9:30~11:30) _____

課題研究Ⅰ

戦後授業研究の成果と課題

(302講義室)

司会者・コーディネーター

小田切 正 (北海道女子大学)

杉山 明男 (吉備国際大学)

提案者

阿部 昇 (茗溪学園中学校・高等学校) 授業研究と学習集団研究

—国語の授業に即して—21

田中 耕治 (京都大学) 教育評価論の新たな地平

—回顧と展望—22

藤原 幸男 (琉球大学) 戦後授業研究と学習集団研究23

(コーディネーターによる設定趣旨)

授業研究については、これまで課題研究のテーマとしてひきつづきとりあげられ、学会のひとつの重要な柱として討議され、継続研究されてきた。80年代まで、すでに基本的な整理はできているが、今日、とくに今後の長期的な展望のもとに、これまでの成果と課題をあきらかにするとともに、授業ならびに授業研究のありかたについて、多角的に、かつ根本に立ち返って検討することが必要とされている。あらたな視点の、授業の見直し、授業のつくりかた(内容、方法について)、授業の組織化についてなど、基本方向があるが、とくに今年度は、科学研究費による総合研究を視野にいれて、つぎの点について提案を行い、総括していきたい。

(イ) 授業研究の内容と方法

(ロ) 授業研究と学習集団研究

(ハ) 授業研究と教育評価研究

9月29日(水) 9:30~11:30

課題研究 II

あらためて道德教育を問う
—「幼児期からの心の教育」と家庭の役割を含めて—
(401講義室)

司会者

小川 博 久(東京学芸大学)
奥平 康 照(和光大学)

コーディネーター

小川 博 久(東京学芸大学)
藤田 昌 士(帝京平成大学)

提案者

藤田 昌 士(帝京平成大学) いま、あらためて道德教育を問う24
山田 雅 彦(東京学芸大学) 「心の教育」の抑圧性について25

(コーディネーターによる設定趣旨)

中教審答申以来、青少年の道德的規範意識の欠如が云々され「心の教育」の必要性が強調されている。そして「心の教育」は今や21世紀の教育のあるべき姿を語る上で重要なキイ・ワードになりつつある。しかしここで改めて問われるべきは「心の教育」とはなにかということである。これは小杉元文部大臣の中教審への諮問文に現れた言葉である。この言葉の創出によって、その時点から「心の教育」が出発したかのような印象があるが、実は「心の教育」の意味を狭くとっても、広くとっても、それは戦後の教育の歴史それ自体を問うことなしには追究できない問題であろう。少なくともこの時点で文部行政の責任者が「心の教育」の不在をうったえたことは戦後の教育、なかんずく「道德教育」の歴史に疑問を提起したことに他ならない。もしそうだとすれば21世紀の「心の教育」にあるべき方向はその意味を狭くとるにせよ、広くとるにせよ、そうした過去の歴史へのきびしい検討なしには生まれないと考えなければならぬ。時代背景の変化を念頭におきながら、また学校外の状況(例、家族、地域等)のあり方を考えつつ、過去の「心の教育」の検討を通して未来を模索してみたい。

課題研究Ⅲ

いま教師教育に何が求められているか
ー現職教育も含めてー

(402講義室)

司会者・コーディネーター

山下 政 俊(島根大学)

山田 昇(奈良女子大学名誉教授)

提案者

市川 純 夫(和歌山大学) 教師に求められる教育内容・方法の力量を考える ……26

澤本 和 子(日本女子大学) 国立大学教員養成学部附属教育実践センターと現場のパートナーシップによる現職教育の実証的研究 ……27

山崎 準 二(静岡大学) 教師教育の現状と課題
ー「教師のライフコース研究」からー ……28

(コーディネーターによる設定趣旨)

いま、子どもたちのおかれている状況、学校が直面している状況の中で、授業が成り立たない、これまでのやり方では対応できない、ということが深刻に問われている。これに対して教育改革のためのさまざまな提言が相次ぎ、このような状況を打開するための諸方策も投げかけられている。その中で、真に教育方法の改善に立ち向かうことのできる教師の力量をどのように考えるのか、そのための教師教育はどのようなものでなければならないかが焦眉の課題である。

以上の観点から、第一に、これからの時代に求められている教師像を念頭におきながら、教師教育の現状と問題をどのように考えるか、第二に、とくに教育内容や教育方法の改善にとりくむ力量を培うための、教師教育のあり方をどのように考えるか、第三に、現職教育の課題や大学院教育のあり方をどのように考えるかについても検討したい。

①教師教育の現状とこれからの教師像に応える教師教育のあり方

現状の何が問題か、いま教師に求められる中心的な課題は何か

②教育内容・方法の改善に立ち向かう力量を備えた教師教育のあり方

とくに教育内容・方法の改善という点から考えると、どのような力量が必要か

③現職教育の模索と大学院の役割との関係を中心においたあり方

大学院における現職教育の意義とその方法で何が問題か

自由研究 1

(307講義室)

司会者 志 村 廣 明 (愛知県立芸術大学)
恒 吉 宏 典 (龍 谷 大 学)

- 13:30 ① 学習環境論に関する研究
—木下竹次の「環境整理」論に着目して—29
○佐 野 亮 子 (上 智 大 学 大 学 院)
- 14:00 ② 棚橋源太郎の理科教授論における「実験」概念に関する考察30
○岩 崎 紀 子 (京 都 大 学 大 学 院)
- 14:30 ③ 近代日本における学級の組織化に関する一考察
—級長制に注目して—31
○楠 本 恭 之 (広 島 大 学 研 究 生)
- 15:00 ④ 現代魚付林思想の展開における犬飼哲夫・三浦正幸・大滝重直の
位置と役割32
○若 菜 博 (室 蘭 工 業 大 学)

自由研究 2

(308講義室)

司会者 中 村 亨 (西南女学院大学)
藤 田 輝 夫 (秋 田 大 学)

- 13:30 ① 自己統制における欲求の問題
—知的なものと情的なものの分断について—33
○田 代 勢 津 子 (精 華 女 子 短 期 大 学 非 常 勤)
- 14:00 ② 幼児の自我生成における保育者との相互作用に関する一考察34
○塩 路 晶 子 (鳴 門 教 育 大 学)
- 14:30 ③ 指導方法からの保育 I
—こどもの反抗にみる経験の仕方について—35
○伊 澤 貞 治 (皐 月 幼 稚 園)
- 15:00 ④ 幼児期の仲間関係と仲間づくり
—3歳児2人組の分析を通して—36
○宮 里 六 郎 (熊 本 学 園 大 学 短 期 大 学 部)

自由研究 3

(309講義室)

司会者 小 泉 祥 一 (東 北 大 学)
高 田 清 (福 岡 教 育 大 学)

- 13:30 ① 学級におけるケアリングリレーションの生成(2)37
 -教師の受容性を中心に-
 ○山 岸 知 幸 (広 島 大 学 研 究 生)
- 14:00 ② 教育とカウンセリング、看護における援助概念の必要性
 -現代の学校における問題状況への取り組みの視点から-38
 ○伊 藤 能 之 (東 京 学 芸 大 学)
- 14:30 ③ 教師の実践的研究者としての研究
 -ポートフォリオを用いて-39
 ○藤 木 和 巳 (兵庫教育大学連合大学院)
- 15:00 ④ リカレント教育の構想と展開
 -企業アンケートの実施と情報処理教育の実践展開-40
 ○黒 川 秀 子 (名 古 屋 大 学 大 学 院)
 ○今 井 昌 彦 (東 海 女 子 短 期 大 学)
 ○本 橋 進 (東 海 女 子 短 期 大 学)

自由研究 4

(405講義室)

司会者 阿 部 好 策 (新 潟 大 学)
森 脇 健 夫 (三 重 大 学)

- 13:30 ① 授業における「問い」の生成過程41
 ○竹 内 元 (広 島 大 学 大 学 院)
- 14:00 ② 教育的語りの研究(3)
 「聞く」ことの教育的意義に関する研究
 -日本の文化構造と教育方法-42
 ○太 田 雅 之 (名 古 屋 大 学 研 究 生)
- 14:30 ③ 総合的な学習の問題点と可能性
 -小学校・中学校国語科の授業を中心にした総合学習-43
 ○麻 生 信 子 (筑紫女学園大学非常勤)
- 15:00 ④ 小学生の生活実態についての一考察
 -日本・タイ・カナダにおける調査の比較を通して-44
 ○永 井 睦 子 (小 松 市 立 第 一 小 学 校)
 水 谷 豊 (桐朋学園大学短期大学部)
 城 後 豊 (北海道教育大学札幌校)

9月29日(水) 午後

自由研究 5

(406講義室)

司会者 本田 敏明 (茨城大学)
三上 勝夫 (北海道教育大学)

- 13:30 ① 相互作用を促す授業スキルに関する研究45
○施 崐 (大阪大学大学院)
- 14:00 ② ホール・ランゲージにおける言語リテラシーの形成と構造46
○黒谷 和志 (広島大学大学院)
- 14:30 ③ 学習のコンテキストの重層性と多様性47
ー中学校の教室のケーススタディー
○松下 佳代 (群馬大学)

9月29日(水) 15:50~18:20

シンポジウム

新学習指導要領の教育方法学的考察
—教育課程・方法の改革—

(402講義室)

司会者・コーディネーター

水越敏行(関西大学)

諸岡康哉(金沢大学)

提案者

天野正輝(京都大学) 学校・教師の教育課程編成(研究・開発)力を高める契機となるか ……………48

片上宗二(広島大学) 総合的学習と学校の再生 ……………49

金森俊朗(金沢市立南小立野小学校) 子ども・親・市民と共につくる学び ……………50

柴田義松(東京大学名誉教授) 教育の「基調の転換」の行方
—その動因,実体と学校改革の可能性— ……………51

(設定趣旨)

2002年の学校完全5日制の実施に対応して、昨年12月に学習指導要領が新しく告示された。大きな特徴としては、授業時間の削減、それに伴う教育内容の2割から3割の削減、さらに「総合的な学習の時間」の新設があげられる。新学習指導要領は、今日学校が抱えているいじめ・不登校・学級崩壊などの問題をどのように克服し、「ゆとり」や「生きる力」「心の教育」を実現しようとしているのか。本シンポジウムにおいては、教育方法学研究の立場から新学習指導要領の特徴と問題点を明らかにし、あわせて、21世紀の学校像を論議を通して浮かび上がらせようとするものである。

各提案者からそれぞれの研究立場にもとづいて意見を出していただき、全体討議では参加者からの意見も交えて議論を深めていきたい。なお、現場の実践者も提案者として加わっていただく予定にしている。活発な論議の展開を期待したい。

インフォメーション

●会員総会

日 時 : 第1日(9月29日・水) 11:40~12:30

会 場 : 402講義室

主な議題 : 会務報告

1998年度決算

2000年度予算案

次期大会校

昼食・休憩前ですが、ぜひとも多数ご参集ください。

●会員懇親会

日 時 : 第1日(9月29日・水) 18:30から

会 場 : 北福利会館

会 費 : 3,000円程度

会員相互の親睦をはかるため、懇親会を開きます。多数の会員のみなさまのご参加をお願いいたします。

●書籍販売について

学会事務局では、受付にて学会機関誌『教育方法』、研究紀要『教育方法学研究』の最新刊およびバックナンバーを、大会割引価格で販売いたします。この機会にぜひお求めください。

また、本大会の『発表要旨集録』を別途希望される方には、1冊800円にて頒布いたします。

なお、『教育方法』最新刊(第28巻)は、本年度の学会費を納入された方には、受付の際にお渡しいたします。(大会以降に学会費を納入された方には、随時お手元に郵送させていただきます。)

自由研究 6

(307講義室)

司会者 稲葉宏雄(近畿大学)
宮崎州弘(富山大学)

- 9:30 ① 総合学習におけるポートフォリオ評価法の可能性と課題53
○西岡加名恵(京都大学大学院)
- 10:00 ② マルチメディア・ポートフォリオ評価法の開発に関する研究
ーTTによる総合的な学習を中心としてー54
○佐藤真(秋田大学附属小学校)
- 10:30 ③ 拡張としての総合学習実践
ーY.エンゲストロームの「拡張による学習」論の可能性ー55
○保坂裕子(京都大学大学院)
- 11:00 ④ 【総合的な学習の時間】を志向した Hiroshima 修学旅行
ー作業的・体験的な活動を通して豊かな表現力を培う実践ー56
○古家正暢(早稲田大学大学院)
- 11:30 ⑤ 「総合的な学習」の「総合」概念57
○佐藤年明(三重大学)

自由研究 7

(308講義室)

司会者 子安潤(愛知教育大学)
高田喜久司(上越教育大学)

- 9:30 ① 授業展開主要概念の関連分析にもとづく各分節の内部構造の解明58
○石原正敬(名古屋大学大学院)
- 10:00 ② 授業における行為と演出
ーH.マイヤーによる行為志向の授業構造把握を手がかりにー59
○宮原順寛(広島大学大学院)
- 10:30 ③ ドイツにおける'90年代スポーツ科学習指導要領改訂の動向60
○岡出美則(筑波大学)
- 11:00 ④ 体育授業研究における質的研究法の試み
ー教師の意思決定過程における二つのディスコースの衝突を中心にー61
○黒川哲也(山口短期大学非常勤)
中島憲子(中村学園大学短期大学部)
海野勇三(山口大学)
鐘ヶ江淳一(近畿大学九州短期大学)
- 11:30 ⑤ 授業のオートポイエシスと授業研究
ー教えと学びの生成過程をとらえる体育授業研究の探求ー62
○海野勇三(山口大学)
口野隆史(精華女子短期大学)
黒川哲也(山口短期大学非常勤)

自由研究 8

(309講義室)

司会者 笹本正樹(高松短期大学)
土井捷三(神戸大学)

- 9:30 ① 非定型的求積問題の問題解決における高次思考と問題解決プロセスに関する研究 …63
○本松裕二(兵庫教育大学連合大学院)
- 10:00 ② 明治検定期算術教科書の内容分析(3)
— 分数の意味付け・説明に注目して — …64
○岡野勉(新潟大学)
- 10:30 ③ 大正期から昭和初期の小学校唱歌科における基本練習指導法の展開 …65
○三村真弓(広島大学大学院)
- 11:00 ④ 音楽的思考のプロセスに関する教授学的検討
— E.Boardman の論を視点として — …66
○岡本信一(兵庫教育大学連合大学院)
- 11:30 ⑤ 齋藤喜博の音楽教育の指導 …67
○井上光洋(大阪大学)

自由研究 9

(405講義室)

司会者 市川博(横浜国立大学)
谷川彰英(筑波大学)

- 9:30 ① 情報リテラシーを育成する総合学習に関する実証的研究
— 歴史博物館づくりの実践を中心として — …68
○寺門東(福岡教育大学大学院)
- 10:00 ② 小学校社会科における社会的問題の授業モデルの開発研究
— 少子・高齢化問題の授業実践を通して — …69
○福原剛(兵庫教育大学大学院)
- 10:30 ③ 社会科とナショナリズム
— 「日本人」の解釈批判学習 — …70
○児玉康弘(広島大学附属中・高等学校)
- 11:00 ④ 社会科における心理学的内容の位置づけ
— The Human Behavior Curriculum Project を事例として — …71
○桑原敏典(岡山大学)
- 11:30 ⑤ 地域とつながる大学での学び
— 学校文化論での取り組み — …72
○進藤貴美子(北海道教育大学岩見沢校)

司会者 折出 健二 (愛知教育大学)
中野 光 (中央大学)

- 9:30 ① ペスタロッチー教育方法思想に関する研究73
○福田 敦志 (広島大学大学院)
- 10:00 ② デューイの探究理論が社会的構築主義に示唆するもの74
○龍崎 忠 (名古屋大学大学院)
- 10:30 ③ L.コールバーグの道徳教育論に関する考察
ー提唱 (advocacy) 概念を中心にー75
○細戸 一佳 (筑波大学大学院)
- 11:00 ④ 授業の芸術的構成
ーE.ウェーバーの授業分析ー76
○荒巻 敦 (広島大学研究生)
- 11:30 ⑤ ヴィゴツキーの『芸術心理学』における発達構成原理の探求77
○庄井 良信 (広島女子大学)

9月30日(木) 13:00~15:00

課題研究Ⅳ

子どもの教育的ニーズと学級授業の改革

(302講義室)

司会者・コーディネーター

碓井 岑夫(和歌山大学)

湯浅 恭正(香川大学)

提案者

鈴木 庸裕(福島大学) 特別な教育的ニーズをもつ子どもと学級・授業 …78

関 浩和(広島大学附属小学校) 新しい「学び」の形成と社会科授業のあり方
ー「問題解決力」から「問題構成力」へー ……79

(コーディネーターによる設定趣旨)

学級授業論は、個人主義的な学習ではなく、授業の成立、学習・学力の保障を共同・自治の文脈において検討してきた。今日、個性尊重や習熟度別学習、選択教科制など、一人ひとりの教育的ニーズに配慮した授業改革論が盛んに提起されている。また、子どもの「荒れ」「学級崩壊」や「身体の異変」といった状況や、子どもの自己決定や参加を軸にした学習論の提起など、学級授業・学習集団の成立原則が、学習主体としての子どもの側から問い直されようとしている。他方、通常の学級に「特別な教育的ニーズ」を持つ子どもが多数在籍しているわが国の状況において、こうした子どもを含む学級授業が成立・展開するためにはどのような指導原則が求められるかについてほとんど議論されてこなかった。

本課題研究は、本学会がここ数年来取り上げてきた「学級・ホームルーム」論の研究を引き継ぎ、特に学級授業の成立や改革に焦点を当てる。子どもの教育的ニーズと学級授業とはどのような関係にあるべきかを中心に、学級授業改革の方向を検討し、その理論的・実践的課題と展望を明らかにしようとするものである。

9月30日(木) 13:00～15:00

課題研究 V

情報教育カリキュラムの検討

(401講義室)

司会者

小 柳 和喜雄(奈良教育大学)
久 米 弘(九州大学)

コーディネーター

小 柳 和喜雄(奈良教育大学)
中 野 和 光(福岡教育大学)

提案者

小 川 亮(上越教育大学) 高等学校における情報教育カリキュラムと評価 ……80

田 中 博 之(大阪教育大学) 総合的な学習としての情報教育
ーマルチメディアプロジェクトの単元開発ー ……81

中 野 和 光(福岡教育大学) 教科,領域を横断した情報教育の目標,内容,方法 ……82

(コーディネーターによる設定趣旨)

平成14年から実施される新しい学習指導要領では、高等学校において新教科「情報」が設置され、新しく設けられた「総合的な学習の時間」においても、情報教育などを行うことが求められている。情報教育を、情報リテラシーを育成する教育と考えると、情報リテラシーは、学校の全教科全領域においても育てられるべきものであると考えられる。育てられるべき情報リテラシーとは何か、情報教育はカリキュラム全体のなかでどのように位置づけられるべきか、新教科「情報」における情報教育、総合的な学習の時間における情報教育、教科や領域を横断した情報教育、それぞれの目標、内容、方法はいかにあるべきか、それら相互の関連、小学校、中学校、高等学校の情報教育の順序性、について検討を行いたい。

課題研究 VI

「総合的な学習」は学校の学びを変えるか

(402講義室)

司会者・コーディネーター

清水 毅四郎(滋 賀 大 学)

庄 司 他人男(福 島 大 学)

提案者

石 川 英 志(岐 阜 大 学) 総合学習を基盤とする広がりのある実践研究の展開
—愛知県額田町立大雨河小の実践研究への参加
を通して—83

内 山 隆(東京学芸大学附属世田谷小学校) 総合学習から子どもとともにつくる
授業・学校へ84

長 尾 彰 夫(大 阪 教 育 大 学) 「総合的な学習」をめぐるポリティックス
分析と「学校の学び」85

(コーディネーターによる設定趣旨)

「総合的な学習」が導入された背景には、今日の学校教育における「学び」が、本来の姿からあまりにもかけ離れたものになっているという実態がある。いじめ、不登校、学級(学校)崩壊などの問題も「学び」のあり様と深く関わっていることはいうまでもない。

「総合的な学習」の導入は、このような現状をなんとか改善するための契機として期待されているわけであるが、その期待に応えるものとなるための課題はきわめて多い。例えば、具体的な学習活動をどう創っていくか、総合的な学習と教科学習との関係をどうするか、総合的な学習の導入と学力問題との関係をどうとらえるか、創意・工夫を推進する校内体制づくりをどうするか、さらには各学校の創意・工夫を支援する諸条件をどう整備するか、等々があげられよう。また、これらの諸課題への具体的取り組みの様相は、小・中・高の校種によってもかなり異なってくるであろう。

このように、「総合的な学習」にかかわる課題は多いが、当面は具体的な学習活動をどのように創っていくかが最大の課題であろう。

日本教育方法学会刊行書籍

教育方法 1.	教科内容・指導方法の現代化	1 9 6 6	(品切れ)
教育方法 2.	授業改造の基本問題	1 9 6 8	(品切れ)
教育方法 3.	授業の組織化と教師の指導性	1 9 6 9	(品切れ)
教育方法 4.	学力差と教授・学習過程	1 9 7 0	(品切れ)
教育方法 5.	教育方法学 '70年代の課題	1 9 7 2	(品切れ)
教育方法 6.	授業研究の課題と方法	1 9 7 4	(品切れ)
教育方法 7.	現代学校教育論の再検討	1 9 7 5	(品切れ)
教育方法 8.	教育課程再編の原則	1 9 7 6	(品切れ)
教育方法 9.	現代訓育理論の探究	1 9 7 7	(2,100円)
教育方法10.	学力の構造と教育評価のあり方	1 9 7 9	(品切れ)
教育方法11.	現代授業理論の争点と教授学	1 9 8 0	(品切れ)
教育方法12.	学級教授論と総合学習の探究	1 9 8 2	(2,600円)
教育方法13.	いま授業で何が問われているか	1 9 8 4	(2,400円)
教育方法14.	子どもの人間的自立と授業実践	1 9 8 5	(2,800円)
教育方法15.	実践にとって教授学とは何か	1 9 8 6	(品切れ)
教育方法16.	個性の開発と教師の力量	1 9 8 7	(2,400円)
教育方法17.	教育方法を問い直す	1 9 8 8	(2,900円)
教育方法18.	新教育課程と人間的感性の育成	1 9 8 9	(1,942円)
教育方法19.	知育・徳育の構想と生活科の指導	1 9 9 0	(1,709円)
教育方法20.	学校文化の創造と教育技術の課題	1 9 9 1	(1,709円)
教育方法21.	自己学習能力の育成と授業の創造	1 9 9 2	(品切れ)
教育方法22.	いま、授業成立の原則を問う	1 9 9 3	(1,806円)
教育方法23.	新しい学力観と教育実践	1 9 9 4	(1,806円)
教育方法24.	戦後教育方法研究を問い直す	1 9 9 5	(2,806円)
教育方法25.	戦後50年、いま学校を問い直す	1 9 9 6	(1,903円)
教育方法26.	新しい学校像と教育改革	1 9 9 7	(1,800円)
教育方法27.	新しい学校・学級づくりと授業改革	1 9 9 8	(1,960円)

(価格は税別)

最新刊・教育方法28

『教育課程・方法の改革

—新学習指導要領の教育方法学的検討—』

〈内 容〉

- I. 新学習指導要領の歴史的位置と社会的背景
- II. 新学習指導要領の構造と特質
- III. 新学習指導要領の実践的課題

『教育方法』は、大会当日、会場にて大会割引価格で販売いたします。

この機会に多数の方々のご購入をお願いいたします。

第18巻からは「会員頒布制」となりましたので、学会費を納入された方には、明治図書より直接お手元まで郵送いたします。

〒170-0005

東京都豊島区南大塚 2-39-5

明治図書

TEL.(編) 03-3946-3151・3152

TEL.(営) 048-256-1175